

本調査は、文部科学省による委託事業「幼児教育の改善・充実調査研究」として、ベネッセ次世代育成研究所が行うものです。

## 「地方自治体における保育者研修についての調査」へのご協力をお願い

拝啓 向寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

私どもベネッセ次世代育成研究所は、このたび文部科学省による委託事業として表題の調査を行うことになりました。この調査は、**幼児教育・保育の質を高める保育者(幼稚園教諭・保育士)研修のあり方を探るために、地方自治体が、認定こども園・幼稚園・保育所に対して行っている研修の実情や課題、要望等を明らかにすることを目的**としています。**できれば管理職の方**にご回答をお願い申し上げます。

この調査結果は報告書にまとめられ、文部科学省の施策の立案等の基礎資料として活用されます。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ご協力いただけますと幸いです。何卒よろしく願い申し上げます。

敬具  
ベネッセ次世代育成研究所 部長 後藤 憲子

- ◆この調査は、都道府県、政令指定都市、中核市、認定こども園がある市区町村(平成21年4月1日現在)に送付しております。調査結果は統計的に処理しますので、貴自治体にご迷惑をおかけすることはありません。また、お答えいただける範囲で結構です。
- ◆ご記入いただいた本調査用紙は、返送用封筒に入れて、**11月20日(金)まで**にご投函をお願い致します(切手は不要です)。
- ◆この調査は、貴自治体における幼稚園・保育所・認定こども園の保育者を対象にした研修について、**状況をよくご存じの方(できれば管理職の方)**がお答えください。
- ◆特に指定がない場合、**平成21年10月1日現在の状況**をお答えください。

このアンケートについて、ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

電話 03-3295-0294 【受付時間 10:00-17:00(※土曜・日曜・祝日、12:00-13:00は除く)】

文部科学省委託調査係 担当:真田(サナダ)

※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。 ※通話料がかかります。

### <情報の取り扱いについて>

調査用紙にご記入いただく内容は、自治体が特定できない統計データとして処理致します(自由記述は、自治体が特定できない形で報告書等に掲載させていただきます場合があります)。また調査の結果は、学会・研修会等で紹介することがあります。なお調査用紙に記載している番号は、調査用紙のご返却状況の確認に使用致します。上記をご確認、ご承諾いただいたうえで、ご記入ください。

### <ベネッセ次世代育成研究所について> <http://www.benesse.co.jp/jisedaikin/>

ベネッセ次世代育成研究所は、(株)ベネッセコーポレーションのシンクタンクとして設立された研究所です。乳幼児をもつ保護者の意識・行動や、幼稚園・保育所での活動等を調査分析した報告書を発刊しております。調査結果は幼児教育・保育施設や官公庁、教育委員会、子育て支援に関わる方々等に活用いただいています。(※「第1回 幼児教育・保育についての基本調査(保育所編)」速報版を同封しております。お役立ただければ幸いです。)

《事務局の連絡先》 〒101-8685 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング  
(株)ベネッセコーポレーション ベネッセ次世代育成研究所 担当:真田(サナダ)

この調査にご回答いただいているあなたの部署や職務経験について、おたずねします。

**Q1** あなたが所属している部署についておたずねします。

(1) 部署名を( )内にお書きください。

( )

(2) (1)の部署の管轄について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 首長部局（子育て支援課や福祉課等）      2. 教育委員会      3. その他（ )

**Q2** 現在の部署でのあなたの役職と職務経験についておたずねします。

(1) あなたの役職について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 指導主事      2. 管理職（手当て受給者）      3. 1・2以外の担当者

(2) あなたは、現在の部署を含め、次にあげる職務の経験はありますか。職務経験として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 教育にかかわる行政職  
2. 教育にかかわる現場の教員、管理職  
3. 児童福祉にかかわる行政職  
4. 児童福祉にかかわる施設の職員、施設長（所長）

貴自治体について、おたずねします。

※「貴自治体」とは、本調査の宛先となっている自治体を指します（以下ご回答いただく際、ご注意ください）。

**Q3** この1年間で、貴自治体では小学校就学前の乳幼児（0～6歳児）の人口は増えましたか、減りましたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 増えた      2. 減った      3. 変わらない

**Q4** 平成21年4月1日時点で、貴自治体には待機児童がいましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 待機児童がいて、1年前（平成20年4月1日時点）より増えた  
2. 待機児童はいるが、1年前（平成20年4月1日時点）より減った  
3. 待機児童はいるが、1年前（平成20年4月1日時点）と変わらない  
4. いない

**Q5** 貴自治体には、平成21年4月1日時点で、次にあげる施設がそれぞれ何園ありますか。( )内に数字を記入してください。該当の園がない場合は(0)園と記入してください。※「休園」は含めずにお答えください。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 認定こども園 ( )園    | 2. 公立幼稚園 ( )園     |
| 3. 私立幼稚園 ( )園     | 4. 公営保育所(認可) ( )園 |
| 5. 私営保育所(認可) ( )園 |                   |

※公設民営の保育所は「5.私営保育所」に含む

**S Q.** 認定こども園について、(0)園と記入された自治体のかたにおたずねします。

貴自治体に認定こども園が設置されていない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 園からの申請がない   | 2. 保護者からの利用の要望が少ない |
| 3. 予算の確保が困難である | 4. 申請の手続きが困難である    |
| 5. 都道府県の方針による  | 6. その他 ( )         |

**Q6** 貴自治体で、認定こども園を担当する部署について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                 |                 |             |
|-----------------|-----------------|-------------|
| 1. 1つの部署で担当している | 2. 複数の部署で担当している | 3. 担当の部署はない |
|-----------------|-----------------|-------------|

**Q7** 貴自治体の、今後の認定こども園の設置予定について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

1. 増やす(新たに設置する)予定である
2. 増やす(新たに設置する)予定はないが、自治体として前向きに検討している
3. 増やす(新たに設置する)予定はないが、園からの申請があれば検討したい
4. 増やす(新たに設置する)予定はない
5. その他 ( )

**Q8** 貴自治体の、公私立幼稚園、公私営保育所にかかわる担当部署について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. <u>公立</u> 幼稚園と公私営保育所の行政の担当部署が一元化している |
| 2. <u>私立</u> 幼稚園と公私営保育所の行政の担当部署が一元化している |
| 3. 公私立幼稚園と公私営保育所の行政の担当部署がすべて一元化している     |
| 4. 公立幼稚園と私立幼稚園の行政の担当部署が一元化している          |
| 5. すべて別の担当部署である                         |
| 6. その他 ( )                              |

→ **S Q 1.** 「4.公立幼稚園と私立幼稚園の行政の担当部署が一元化している」「5.すべて別の担当部署である」「6.その他」を選んだ自治体のかたにおたずねします。

幼稚園と保育所の担当部署の一元化の予定について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 今後一元化する予定である         | 2. 一元化する予定はないが、検討したい |
| 3. 特に必要性がないし、一元化する予定もない | 4. その他 ( )           |

⇒SQ1 をご回答後は、P5 Q9 へお進みください

P4 SQ2 へお進みください



**保育者向けの研修の実情や要望等について、おたずねします。**

全員のかたにおうかがいします

**Q9** 私立幼稚園への支援に関する貴自治体の方針は、次にあげるAとBのどちらに近いですか。

どちらかといえば近いほうの考えに、○をつけてください。

- A. 私立幼稚園にも、研修等の支援を行うべきである
- B. 私立幼稚園には、研修等の支援を行わなくてよい

**SQ1.** Q9で「A. 私立幼稚園にも、研修等の支援を行うべきである」を選んだ自治体のかたにおたずねします。  
そのように答えた理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 首長の考えだから
- 2. 教育長の考えだから
- 3. 以前からそのような方針だったから
- 4. 幼保公私を問わず、一定の保育の質を担保したいから
- 5. 幼児教育・保育の質を高めるには、自治体からの積極的な支援が必要だから
- 6. その他 ( )

**SQ2.** Q9で「B. 私立幼稚園には、研修等の支援を行わなくてよい」を選んだ自治体のかたにおたずねします。  
そのように答えた理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 首長の考えだから
- 2. 教育長の考えだから
- 3. 以前からそのような方針だったから
- 4. 私立の保育の理念や建学の精神を尊重しているから
- 5. 子どものことは現場のほうがよくわかっているから
- 6. その他 ( )

**Q10** 貴自治体では、認定こども園のみを対象にした研修を主催したことがありますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 認定こども園がないため、認定こども園のみの研修を主催したことはない ⇒P7 Q11 へお進みください
- 2. 認定こども園はあるが、認定こども園のみの研修を主催したことはない ⇒P6 SQ2 へお進みください
- 3. 認定こども園があり、認定こども園のみの研修を主催したことがある

**SQ1.** Q10で「3. 認定こども園があり、認定こども園のみの研修を主催したことがある」を選んだ自治体のかたにおたずねします。

(1) 主催した研修の内容に近いものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 0～6歳児の発達の見通しを持てる研修
- 2. 乳児保育の専門性を高める研修
- 3. 幼児教育の専門性を高める研修
- 4. 教育と保育の一体的な展開のあり方や方法がわかる研修
- 5. 特別支援教育の専門性を高める研修
- 6. 短時間保育・長時間保育の子どもの生活への理解が深まる研修
- 7. さまざまな家庭への支援のあり方や方法がわかる研修
- 8. 地域との連携のあり方や方法がわかる研修
- 9. 幼保の保育者の、互いの仕事に対する理解が深まる研修
- 10. その他 ( )

(2) 研修を主催したことによる成果がありましたら、( ) 内になるべく具体的にお書きください。

( )

(3) 認定こども園のみを対象に研修を主催するうえでの課題はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日程の調整が困難である
2. 時間の確保が困難である
3. 予算の確保が困難である
4. 現場のニーズの把握が困難である
5. 部署間の調整が困難である
6. 認定こども園の数が少なく、対象者が少ない
7. 講師の選定、確保が困難である
8. 研修内容のニーズが多岐にわたる
9. 研修テーマが限られる
10. 研修への意欲が保育者によって異なる
11. 初任者研修の有無など、幼稚園教諭と保育士の研修体制に違いがある
12. 保育者間で教育・保育観が異なる
13. 保育者の職務経験年数の差が大きい
14. 研修の成果を実感しにくい
15. その他 ( )

⇒ (3) をご回答後は、P7 Q11 へお進みください

**S Q 2. Q10** で「2. 認定こども園はあるが、認定こども園のみの研修を主催したことはない」を選んだ自治体のかたにおたずねします。

(1) 主催していない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認定こども園の数が少ないから
2. 現在の研修体制を利用することで十分だから
3. 自治体が主催する必要はないから
4. 財政的な措置がないから
5. 認定こども園のみを対象に研修を行う担当部署がないから
6. 現場からの要請がないから
7. その他 ( )

(2) 今後、認定こども園のみを対象に研修を主催する予定はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 主催する予定である
2. 主催する予定はないが、自治体として前向きに検討している
3. 主催する予定はないが、園からの要請があれば検討したい
4. 主催する予定はない
5. その他 ( )

**Q11** 貴自治体では、幼稚園の教員、保育所の保育士、認定こども園の保育者を対象にした幼保合同研修を主催したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※幼保合同研修とは、ここでは、幼稚園の教員と保育所の保育士等を対象にした合同研修を指します。

- 1. 幼保合同研修を主催したことはない
- 2. 幼保合同研修を主催したことがある

→ **S Q 1.** 「1. 幼保合同研修を主催したことはない」を選んだ自治体のかたにおたずねします。

(1) 幼保合同研修を主催したことがないのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 現在の研修体制で十分だから
- 2. 合同研修を行う担当部署がないから
- 3. 自治体が主催する必要はないから
- 4. 財政的な措置がないから
- 5. 現場からの要請がないから
- 6. その他 ( )

(2) 今後の幼保合同研修の実施予定について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 実施する予定である
- 2. 実施する予定はないが、自治体として前向きに検討している
- 3. 実施する予定はないが、現場からの要請があれば検討したい
- 4. 実施する予定はない
- 5. その他 ( )

⇒ (2) をご回答後は、P10 Q12 へお進みください

→ **S Q 2.** 「2. 幼保合同研修を主催したことがある」を選んだ自治体のかたにおたずねします。

(1) 幼保合同研修を管轄する部署名を ( ) 内にいくつでもお書きください。

( )

(2) (1) の部署の管轄について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 首長部局
- 2. 教育委員会
- 3. その他 ( )

(3) 幼保合同で主催する研修について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. すべての研修を合同で行っている
- 2. テーマ（保幼小連携や特別支援教育等）によって、合同研修を行っている
- 3. その他 ( )

(4) 幼保合同研修で、主な対象となる施設について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 公立幼稚園
- 2. 私立幼稚園
- 3. 公営保育所（認可）
- 4. 私営保育所（認可）
- 5. 認定こども園
- 6. 小学校
- 7. その他 ( )

(5) 幼保合同研修の主な対象者について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 常勤で正規雇用の保育者
2. 常勤で非正規雇用の保育者
3. 非常勤で非正規雇用の保育者
4. 調理師、栄養士、看護師等の職員
5. その他 ( )

(6) 幼保合同研修を行う目的について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼保の保育者の相互理解を深めるため
2. 自治体が幼保に共通して必要な情報（保幼小連携や特別支援教育等）を提供するため
3. 幼保を問わず、一定の質の保育を自治体が担保するため
4. 園同士の交流や情報交換のため
5. 自治体による研修運営の効率化のため
6. その他 ( )

(7) この1年間に貴自治体が主催した幼保合同研修のテーマと、今後主催したいテーマについて、それぞれあてはまる欄すべてに○をつけてください。

	①この1年間で主催した 幼保合同研修のテーマ	②今後主催したい 幼保合同研修のテーマ
1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針		
2. 教育課程・保育課程		
3. 指導計画		
4. 自己点検・自己評価		
5. 幼稚園幼児指導要録・ 保育所児童保育要録の記載や活用		
6. 認定こども園に関すること		
7. 保育者の役割や専門性		
8. 子どもの人権		
9. 子どもの健康と安全		
10. 子どもの発達理論		
11. 保育実践の記録		
12. 特別支援教育		
13. 保幼小の連携		
14. 食育		
15. 運動・遊びの実技演習		
16. 乳児の活動と教材		
17. 幼児の活動と教材		
18. 保護者への支援		
19. 地域との連携		
20. 非常災害時の対策		
21. 情報機器の活用		
22. その他	( )	( )





(13) 幼保合同研修の難しさを感じることや、実施するうえで工夫していることがありましたら、( ) 内になるべく具体的にお書きください。

■難しさを感じること

■幼保合同研修を実施するうえで工夫していること

全員のかたにおうかがいします

**Q12** 貴自治体では次あげる保育者（幼稚園教諭・保育士）向けの研修等を行っていますか。行っていることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認定こども園に特化した内容の研修を実施している
2. 保育者の経験年数に応じた研修メニューを充実している
3. 保育者の課題や要望に応じて選べる多様な研修メニューを用意している
4. 幼保公私にかかわらず、希望する保育者は地方自治体が行う研修を受講できるようにしている
5. 非正規や非常勤の保育者も、希望すれば地方自治体が行う研修を受講できるようにしている
6. 保育者研修にかかわる情報を一元化して、ホームページ等で公開している
7. 研修内容の改善に向けて、現場と行政が協議できる場を作っている
8. 現場に対して、研修内容の要望を聞くためのアンケートやヒアリングを行っている
9. 地区ごとに開催する等、研修の場所を配慮している
10. 土曜日や日曜日に実施している
11. 保育終了後の時間に実施している
12. 同じ内容の研修を複数回、実施している
13. DVD やインターネットを利用する等、研修方法を多様化している
14. 保育者の養成機関と連携した研修を充実している
15. 管理職の登用のための研修を充実している
16. 必要経費（旅費等）について、園に対して財政的な支援を充実している
17. その他（ )

**Q13** 貴自治体では、幼稚園や保育所、認定こども園に対する研修等の取り組みや支援を行うにあたって、現場の園長・所長・施設長等に意見を聞く機会を作っていますか。意見を聞く機会を作っている相手について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |               |                   |               |
|---------------|-------------------|---------------|
| 1. 公立幼稚園長     | 2. 私立幼稚園長・理事長     | 3. 公営保育所長・施設長 |
| 4. 私营保育所長・施設長 | 5. 認定こども園長・所長・施設長 |               |
| 6. 特に聞いていない   |                   |               |

→ **S Q.** 「1. 公立幼稚園長」「2. 私立幼稚園長・理事長」「3. 公営保育所長・施設長」「4. 私营保育所長・施設長」「5. 認定こども園長・所長・施設長」を選んだ自治体のかたにおたずねします。

(1) どのような方法で意見を聞いていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 定期的に会合を行う（園長会など） | 2. 必要に応じて不定期に会合を行う       |
| 3. 個別に意見を聞く         | 4. 研修について検討する委員会等を設置している |
| 5. その他（             | ）                        |

(2) 意見を聞くことによる利点や課題があれば、（ ）内になるべく具体的にお書きください。

■利点

■課題

**Q14** 保育者（幼稚園教諭・保育士）対象の研修について、国に対して次にあげる要望はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育者の経験年数に応じて求められる資質や専門性について、体系化された目安を作してほしい
2. 経験年数に応じた研修（初任者、5年目、10年目研修等）の受講を全ての保育者に義務化してほしい
3. 都道府県や市区町村が主催する保育者研修について、指針（研修内容や対象者等）を作してほしい
4. DVD やインターネットを利用する等、研修方法を多様化してほしい
5. 国からの発信（幼稚園教育要領や保育所保育指針等）に関する研修の回数や開催地域を増やして、必要な人に情報が届くようにしてほしい
6. 必要経費（旅費等）について、都道府県・市区町村への財政的な支援を充実してほしい
7. その他（

**保育者に求められる資質等について、おたずねします。**

**Q15** 貴自治体の幼稚園、保育所、認定こども園の保育実践上、運営上の課題について、特に課題だと思うものを3つまで選んで、上位から順に  内に記入してください。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 保育者の資質の維持、向上  | 2. 保育（教育）内容・方法の充実  |
| 3. 保育者の確保        | 4. 予算（補助金、保育料等）の確保 |
| 5. 園のビジョンの策定     | 6. 施設・設備の充実        |
| 7. 保育者間の連携       | 8. 家庭との連携          |
| 9. 地域との連携        | 10. 保幼小の連携         |
| 11. 自己点検・自己評価の充実 | 12. 幼児教育・保育の重要性の周知 |
| 13. その他（         | ）                  |

1 番目      2 番目      3 番目

--	--	--

**Q16** これからの保育者に求められる資質とはどのようなものであるとお考えでしょうか。（ ）内になるべく具体的に  
お書きください。

（  
  
  
  
  
  
  
  
  
）

**Q17** 貴自治体の幼稚園、認可保育所、認定こども園の保育者の資質を向上させるために必要だと思うことについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 園長・所長・施設長等、管理職のリーダーシップ
2. 保育者の勤務条件や給与面での待遇改善
3. 保育者同士が学び合う園の組織文化
4. 実践記録作成等による日々の省察
5. 保育者の自己評価
6. 園内研修の回数の増加
7. 園内研修の内容の充実
8. 園外研修への参加回数の増加
9. 園外研修の内容の充実
10. その他（

質問は以上です。

多岐にわたる質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。